



Cognitive Research for Exploratory Search

Web上の情報探索過程に関する認知的研究

江草 由佳 (国立教育政策研究所), 神門 典子 (国立情報学研究所/総合研究大学院大学), 齋藤 ひとみ (愛知教育大学),
高久 雅生 (物質・材料研究機構), 寺井 仁 (東京電機大学), 三輪 眞木子 (放送大学)

Yuka Egusa, Noriko Kando, Hitomi Saito, Masao Takaku, Hitoshi Terai, Makiko Miwa

URL: <http://cres.jpn.org/> Email: cres@nii.ac.jp

CRES (Cognitive Research for Exploratory Search) とは

(通称:クレス) という名称で、「認知科学的アプローチ」「Exploratory Search」などをキーワードにした 共同研究プロジェクトです。CRESプロジェクトでは、Web上の利用者の情報探索行動や認知プロセスに着目した研究を行っています。利用者実験の手法に基づき、利用者のWeb上の画面遷移映像、閲覧WebページのURL、眼球運動、発話、事後インタビューなどを記録して分析を進めています。

何がわかるの？

- ✓人は、どのようにネットの上で情報探索を行っているか
- ✓利用者のWeb探索を支援するにはどういう機能が望ましいか
- ✓Web探索の機能は、どのように評価するか

どんな研究？

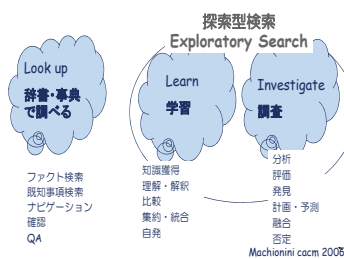
視線計測、操作ログ、インタビューなどを組み合わせて、どのような利用者が、どのような目的でWEB探索を行うときに、何を考え、どのように振る舞うか詳細に調べ、利用者のWEB探索における問題解決の認知過程の解明しています。また、それに基づいて、WEB探索システムの望ましい支援機能やインタフェースの提案も行っています。

背景

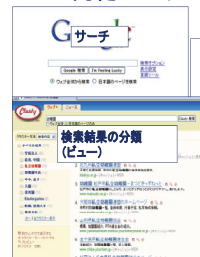


- 今度の週末、何やる？
- 裁判員制度 どうすればよいの？
- よい幼稚園？
- いい車は？
- 商品開発企画案？
- 旅行、どうする？
- 美術館、なにをどうみる？
- レポート書がなくなっちゃ、などなど

情報検索のタイプ



既存のサーチエンジン



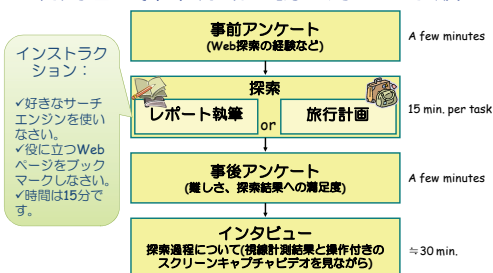
サーチエンジンの先のWeb上での探索、探索時に利用者はどのようなことを考えていたのかも知りたい → サーバサイドのログだけでは不十分！

利用者の情報探索過程の分析

条件

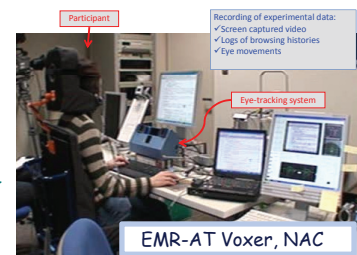
- タスク・検索の目的の違い:
レポートを書くための情報収集 vs. 旅行計画を立てるための情報収集
- 利用者のタイプ(経験の差):
学部生(11人) vs. 院生(5人)

利用者の探索行動：調査方法と手順



データ収集

- 操作ログ
- 画面キャプチャ
- 視線計測
- 発話プロトコル
- インタビュー、など



大学院生(5年一貫性、博士後期課程)を募集しています。CRESのメンバーと一緒に研究しませんか？
総合研究大学院大学・複合科学研究科・情報学専攻(研究室は国立情報学研究所内にあります)の入学希望者を募集しています。他大学に在籍したまま、研究指導委託制度により、特別共同研究員として国立情報学研究所に滞在して研究指導を受けることもできます。詳しくは、神門典子(kando@nii.ac.jp)までお問い合わせください。

私たちが提案している分析枠組み

- "Look Zone": Webページのどこをみているか
- "Scan Path": ランクをどんな順でみているか
- Web探索カテゴリ: Web探索の操作を定義
- "Link Depth": リンクをどのくらい深くたどっているか

収集・分析ツールの開発

- "COPATT": 画面キャプチャ、視線データ、プロトコルを統合する分析プラットフォーム
- "QT-Honey": Lemur Query Log Toolbar (Lemur project)の改良、クライアントサイドのWebログ記録ツール



